

大草谷津田いきものの里 自然観察ガイド

ホタルのお宿は？

太田慶子(千葉市)

日 時：2009年7月19日（日）10：30～12：15 天候：曇

参加者：16名（大人11名 子供5名）

担 当：太田慶子 木下順次

前日の下見の折、草裏などに休んでいるだろうホタルを探したが見つからず、夜に再度採取に行き、ヘイケボタル♀2、♂1を捕まえておく（写真は♂）。

参加者のほとんどが親子連れということで、虫中心の観察会となる。まずはセミの抜け殻（主にニイニイとヒグラシ）探しの結果、低い草木の葉裏などにたくさん見つかった。

ヒカリキセルガイのいるところで、ホタルについての説明をした（キセルガイはオバホタルなどの幼虫のエサとなる）。大草にいるのはヘイケボタルの他にオバホタル・ムネクリイロホタル・クロマドボタルでゲンジはいない。ゲンジとヘイケの幼虫は川の中で過すが、世界にいる多くのホタルの幼虫は陸生だと話したあと、実際のヘイケボタルを雌雄確認しつつ見てもらった。

途中で、エノキにいるアオダイショウの子どもや、ゴマダラチョウの幼虫を見た後、田んぼに下りて、シュレーゲルアオガエルの子どもが跳ね回る中、湧水の冷たさを肌で感じてもらった。視線を上に向けると、オニヤンマがたくさん飛んでいる。「ここにはオニヤンマもいるんですか」と、初めて来たお父さんの言葉。

少し谷津田の奥に行き、どんなところにホタルがいるか、を説明する。「ここにはオニヤンマだけでなく、石を除けるとなんと大小のサワガニもいます」と。

最後は＜湧水・田んぼの水・水道水・合成洗剤を含んだ水＞などによるパックテストで締めくくった。有機物を含まない水道水は COD（無機的なものにするための化学的酸素要求量）では色の変化はなく、数値が低い（ほとんどゼロ）が、塩素が含まれているので弱酸性だとわかる。湧水・田んぼの水は適度な有機物を含むので少し色づき（10～20 mg/l）、PHは中性を示した。洗剤を含んだ水は浄化するのにたくさんの酸素を必要とするので、CODが他と比較してぐんと高い（100mg/l）ことなどがわかったと感受到了と思う。

子どもらはもっぱらトンボ捕りに網を振り回していたが、パックテストは面白かったという。

「トンボが多種類いるんですね」とお父さん。

火曜の夜はホタル調査をしているので、来て下さいと話して終わり、葦の草笛を吹きながら広場に戻った。

